

KIMMUN AMERICAN REGULATOR

金門アメリカンレギュレータ



azbil

金門アメリカンレギュレータ概要

金門アメリカンレギュレータは1919年にカリフォルニアに於いてレギュレータの製造を開始して以来60有余年の伝統と実績を誇る有数のレギュレータです。

近年開発されたAFVレギュレータはコンパクトで大容量なレギュレータとして市場のニーズに応えた製品と好評を博しており、世界の都市ガス会社をはじめ、天然ガスのラインなど、幅広く利用されています。

アズビル金門株式会社は、このアメリカンメータ社の技術に着目し、シンガー社と国内の販売契約を結び、アズビル金門の販売網にのせ全国の都市ガス会社をはじめ、プラントメーカー、燃焼機器メーカー等のお客様に広く御利用を頂いております。

アズビル金門では、安全性と安定供給をモットーに、「よりコンパクト」で、「より高性能」なレギュレータシステムを、開発販売して参ります。

金門アメリカンレギュレータの経歴

- 1919 第一次大戦後バサディナ(カリフォルニア州)に於いて、中圧ガス供給が開始され、又LPGも供給されるようになり、リライアンスは高圧用レギュレータの製造を開始。
- 1927 リライアンスはアルハンブラ(カリフォルニア州)に工場を新設。
- 1930 アメリカン・メータはリライアンスを吸収合併し、子会社とする。
エリー工場(ペンシルベニア州)でリライアンス・レギュレータの製造を開始。
- 1947 リライアンスはアメリカン・メータの一事業部(DIVISION)となる。
- 1951 リライアンス事業部をフラトン工場に移し、レギュレータの集中生産を行なう。
- 1968 アメリカン・メータはシンガー・カムパニーに吸収合併され子会社となる。
- 1970 アメリカン・メータはシンガー・カムパニーの工業製品事業部(IPG)アメリカン・メータ・ディビジョンとなる。
- 1973 アズビル金門はアメリカンメータ社のレギュレータを販売開始する。
- 1976 シンガー社と日本国内における販売契約を締結。
- 1976 レギュレータユニットの販売を開始する。
- 1978 レギュレータ及びレギュレータユニットの検査工場を完成。
- 1981 レギュレータユニットの増産に伴いレギュレータ工場を増設。
- 1982 AFV低圧用パイロットループで東京ガス殿と共同開発で大田賞を受賞。
- 1982 AFVレギュレータ、スラムシャットバルブの国産化契約を締結。
- 1983 AFVレギュレータ、スラムシャットバルブの国産開始。
- 1986 AFV低差圧用パイロットレギュレータを東京ガス殿と共同開発、販売開始。
- 1988 アメリカン・メータ・カンパニーは、シンガー・カンパニーからRuhrgas AGに売却される。
アメリカン・メータ・カンパニーは、独立した会社として活動を続ける。

レギュレータの選定について

レギュレータの取扱い品目一覧表

カタログ No	型 式	口 径	制御方式	使用目的		最 小 作動差圧 [MPa]	1 次圧力範囲 [MPa]	2 次圧力範囲 [kPa]	使用流量の目安 [m ³ /h]
				地区用	専 用				
3, 4, 5	AFV	2B, 3B, 4B, 6B, 8B	ZSC100	○	○	0.06	0.1~3.0	0.03~1.5MPa	200以上
			I203+I803B	○		0.06	0.06~0.99	1.0~5.0	//
			ZL	○		0.04	0.04~0.99	1.0~10	//
			ZM	○	○	0.06	0.1~0.99	10~30	//
6	3000	1½B, 2B, 3B	直 動 式	○	○	-	2.0~50kPa	0.25~13.7	1000以下
7	3010P	2B, 3B, 4B	I213B+I803B	○		0.01	0.01~0.2	1.0~4.0	100以上
8	K301	2B	直 動 式	○	○	-	0.03~0.2	1.0~11	400以下
9	1800	1½B, 2B	//	○	○	-	0.02~0.7	0.9~34	200以下
10	1800M	2B	//	○	○	-	0.02~0.99	0.9~34	300以下
11	2000	1½B, 2B	//		○	-	0.035~0.99	3.5~100	300以下
12	1800B2	¾B, 1B	//		○	-	0.0035~0.3	0.9~14	30以下
13	1800B2F	1B	//		○	-	0.0035~0.88	0.9~14	30以下
14	I200B	¾B	//		○	-	0.007~0.88	1.3~34	10以下
15	HPR10	1B, 2B	//		○	-	0.1~0.99	0.018 ~0.175MPa	800以下

レギュレータの選定手順

- ①上記の一覧表より仕様にあった型式を選定します。1次圧力、2次圧力、流量、ガス質（比重）使用目的を確認して選定して下さい。
- ②選定した型式のレギュレータカタログを参照して流量表から口径を選定します。
口径を選定する場合は、カタログ流量の70%前後を使用最大流量として選定して下さい。
- ③ガス比重が0.6と異なる場合は、下式の比重換算式によりカタログ流量を換算して下さい。

カタログ流量比重換算式

$$Q = Q_1 \times \sqrt{\frac{0.6}{r}}$$

Q₁ : カタログ流量 (ガス比重0.6)

Q : 流量

r : 使用ガスの比重